



ライオンズクラブ国際協会

The International Association of Lions Clubs
District 335-B



www.lc335b.gr.jp



History & Roots

ライオンズクラブは1917年、アメリカ・イリノイ州シカゴに誕生しました。創設者メルビン・ジョーンズの夢の結実です。ジョーンズは、実業界の面々が結束してクラブをつくり「社会のために何か有益な団体と成り得ないだろうか」という夢をいだき、1917年6月7日、シカゴのラサールホテルにクラブの代表20人が集まり最初の会議が持たされました。

そこで組織の名称として「Association of Lions Clubs」とすることが決定。ライオンズクラブの誕生です。もうすぐ1世紀にも届こうとする伝統と歴史があります。



Melvin Jones

ライオンズクラブのLogo（紋章）について

1920年、200を超すデザインの中からジョーンズが必要部分を組み合わせたものが原案となりました。LogoにはLの字を真ん中に2匹のライオンの頭部が左右を向いて配置され、上部に「LIONS」、下部に「INTERNATIONAL」の文字があります。

「L」は法（Law）、自由（Liberty）、労働（Labor）、忠誠（Loyalty）、愛（Love）、生命（Life）、そしてライオン（Lion）を象徴し、ライオンの1頭は輝かしい過去の歴史を、もう1頭はライオンズの未来を見つめています。

ライオンズクラブの目的

- *世界の人びとの間に相互理解の精神をつちかい発展させる。
- *よい施政とよい公民の原則を高揚する。
- *地域社会の生活、文化、福祉および公徳心の向上に積極的関心を示す。
- *友情、親善、相互理解のきずなによってクラブ間の融和をはかる。
- *一般に関心のあるすべての問題を自由に討論できる場を設ける。ただし、政党・宗派の問題をクラブ会員は討論してはならない。
- *奉仕の心を持つ人びとが個人の経済的報酬なしに社会に奉仕するようはげまし、また、商業・工業・専門職業・公共事業および個人事業の能率化をはかり、道徳的水準をさらに高める。

ライオンズクラブのモットーとスローガン

Motto

「We Serve」

(われわれは奉仕する)

奉仕こそ、ライオンズクラブの生命であり、使命である。
主語が「私」でなく「われわれ」であるところにライオンズクラブの特徴がよく現れています。
皆が力を合わせて奉仕活動を行うのがライオンズクラブです。

Slogan

「Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety」

(自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる)



A Activity

We Serve

ライオンズクラブでは奉仕活動のことをアクティビティと呼びます。ある特定の奉仕分野を専門的に活動するボランティア団体が多い中、ライオンズクラブの活動分野は非常に多岐にわたっています。

視力保護アクティビティ

1925年、オハイオ州シダーポイントで開催されたライオンズクラブ国際大会の記念講演で、ヘレン・ケラー女史は「ライオンズよ！闇を開く十字軍の騎士たれ」と呼びかけ、これを契機にライオンズクラブは視力保護と盲人援助に力を注ぐ事になりました。ヘレン・ケラーはライオンズクラブの名誉会員であり初の女性会員でした。

視覚障がい者用『白い杖』はライオンズから

万国共通あの「白い杖」はライオンズの奉仕の産物です。

1930年、1人の視覚障がい者が道路を横断しようとして立ち往生しているのを目撃したアメリカのライオンズメンバーであるボナムは、「目が不自由であることを、ドライバーに知らせる方法が何があるはずだ・・・」と、白い杖を思いついた。

ボナムの所属するライオンズクラブで白い杖を作り、市内の視覚障がい者に無料で贈りました。市議会は、白い杖の持ち主に交差点での優先権を認める「白い杖安全法」が制定されました。

『ライオンズ世界視力デー』

12年以上にわたり毎年10月に開催されているライオンズ世界視力デーは、予防可能な失明の根絶及び視力の回復に焦点を当てています。世界視力デーに世界中のライオンズは次のような視力に関する特別な奉仕事業を実施しています。

*中古眼鏡を収集しリサイクル後、眼鏡を必要としている国へ配布。

*視力及び糖尿病の検査の実施。

*目の健康の重要性、及び視力喪失の危険性がある糖尿病などの疾病について、地域社会に周知するための教育プログラムの立案。



『盲導犬・聴導犬・介助犬育成事業支援』

ライオンズクラブでは、街頭募金やチャリティーコンサート、クラブ結成周年記念事業の一環として、盲導犬・聴導犬・介助犬の育成事業を支援しています。



Lions Impact 120,000,000

眼科医療サービスを提供するためにWHOと共同で開発されたニース・ベースによるライオンズ眼科医療センターでは世界中の1億2,000万人の子供たちを支援してきました。



World Sight Day

LCIF(ライオンズクラブ国際財団)の交付金により大阪府立視覚障がい者支援学校へ、点字プリンター・拡大鏡・弱視スコープ等を寄贈し、視覚障がいの方々へ支援を行っています。



保健関係アクティビティ

ライオンズクラブは、地域の人々の健康のために様々な活動を実施しています。辺地医療や検診医療奉仕、医療機器の寄贈、失明の要因ともなる糖尿病に対する認識教育や、小児糖尿病患者のキャンプなども実施しています。

特に、献血・献眼・献腎は「三献運動」と呼ばれて全国のライオンズクラブが熱心に取り組んでいます。



Lions Impact 41,000,000

ライオンズ麻疹イニシアチブ試験プログラムでは、小児失明の主要な原因である麻疹の予防接種をエチオピア、マダガスカル、マリ及びナイジェリアの4,100万人の子供たちに行いました。



献血奉仕活動

大阪府・和歌山県の献血全体の約20%が335-B地区内各クラブの献血奉仕活動による実績として報告されています。

『麻疹予防接種強化』プログラム

1ドルで一人の子供を麻疹から救うことができます。

ライオンズクラブは子供たちのための啓発活動や健康の改善に取り組んでおり、1500万ドルを麻疹への取り組みに提供するという目標を設定しました。

第1回キャンペーンは2010年10月にエチオピアとマダガスカルで実施され、1,300万人以上が治療を受けました。2011年にナイジェリアとマリで予防接種キャンペーンを実施。約460万人の子供たちが予防接種を受けました。

『献血奉仕』

献血奉仕事業は、日本全国のライオンズクラブの主要アクティビティとなっています。

1989年7月には日本赤十字社が昭和天皇のご遺金を基に創設した献血推進賞の第1回受賞の栄に日本ライオンズが輝きました。

335-B地区(大阪府・和歌山県)の各地では、年間およそ1,650回以上の献血奉仕活動を実施しており、大阪府・和歌山県の総献血者数の約20%がライオンズクラブの献血活動による献血者数です。



薬物乱用防止『ダメ。ゼッタイ。』普及活動

ライオンズクラブは1997年、(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターの協力を得て、薬物乱用防止教育講師認定制度を作りました。

これはライオンズ会員が学校で、薬物乱用防止の啓発活動をするに当たり、専門的組織から講師を招いて講習を受けて、生徒を指導するのに必要な知識とテクニックを身につけようというものです。

現在認定講師は1万9,000人を超え、これまでに約3,000校で30万人の生徒に薬物乱用防止を指導してきました。



青少年アクティビティ

青少年健全育成事業はライオンズが力を注いでいる活動です。青少年交換(YCE)プログラム・ライオンズレオ・ライオンズクラブほか、野球やサッカー・剣道などのスポーツ大会開催、弁論大会や作文コンクールなどの文化事業、農作物の育成など多岐にわたります。

■ ライオンズクラブ『思春期のライフスキル教育』

青少年にライフスキル(生きる力)を身につけさせる事を目的としたライオンズクラブ国際協会と、ライオンズクラブ国際財団(LCIF)のプログラムです。

ライオンズクラブは5~18歳の青少年と共同作業を行う教師及び、その他PTAや一般の大人の方々にワークショップ形式で活動の指針を受講して頂き資料を提供しています。

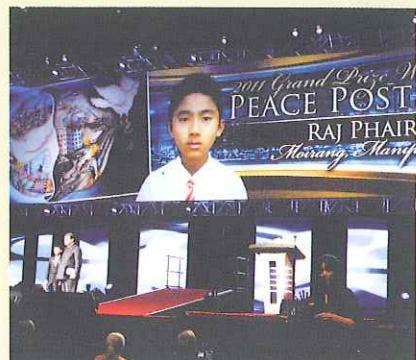
目標は青少年の責任感と対処法を育成し、マイナス行動の誘惑に打ち勝つ事ができるよう指導することにあります。

■ 青少年交換プログラム『YCE (Youth Camp and Exchange Program)』

このプログラムは「世界の人々の間に相互理解の精神を培い発展させる」ことを目的にしています。

派遣生の年齢は15~21歳、ライオンズクラブがスポンサーになります。派遣期間は4~6週間。ホスト家庭に滞在し家族としての日常生活の中で、地域青少年や地域社会と触れ合う機会を持つ事ができます。

335-B地区(大阪府・和歌山県)では毎年約30カ国からユースを受け入れています。夏には日本国際ユースキャンプを開催し、世界各国の来日生の交流を図っています。



最優秀賞は国際大会で表彰します。



Lions Impact 12,000,000

ライオンズ・クラブ(学校を中心としたライフ・スキル)プログラムでは、薬物乱用や暴力などの問題に立ち向かえるように1,200万人以上の若者を支援しています。



Japan International Youth Camp

青少年交換(YCE)事業は、兵庫県のクラブとカリフォルニア州とネバダ州の間で1961年の夏「日米夏期学生交換計画」が実行された事に始まり、すでに半世紀の実績を持つ伝統的な事業です。

国際平和ポスター・コンテスト

国際平和ポスター・コンテストは、11~13歳の生徒を対象に実施しています。毎年、平和に関する要素を含むテーマが国際協会より発表され、それに沿って生徒が制作します。

335-B地区(大阪府・和歌山県)では約730校が参加し、約6万点の作品の応募があります。優秀作品は、それぞれの地域で展示会が開かれ表彰されます。国際協会では、全世界から応募された35万以上の作品を審査し、その中から最優秀作品を選出し、国際大会で表彰します。



災害復興支援アクティビティ

- *放射線レベルを下げるための高圧洗浄機2,000台を調達するために100万ドルが提供されています。
- *東北沿岸地域に台所用品と設備を支給するために120万ドルが提供されています。
- *約40万ドルが南三陸と石巻に2カ所のコインランドリーを設置するために充てられました。

■ 東日本大震災復興支援活動



台風12号災害復興支援活動



Lions Impact 2,100,000,000

ライオンズクラブ国際財団は約21億円近くを日本における災害救援のために調達しました。これにはLCIFの援助交付金のほか世界中のライオンズから寄せられた義援金が含まれています。



Lions Impact 170,000,000

335-B地区(大阪府・和歌山県)の各クラブは東日本大震災発生後、すぐに義援金募金活動を行い、地域の皆様との協力のもと6月末までに約1億7千万円の義援金を被災地へ送る事ができました。



100万本植樹キャンペーン

2011年7月、国際会長方針として「100万本植樹キャンペーン」が発表され、世界206の国135万人のライオンズメンバーは目標達成を誓い世界規模での地球を守る奉仕活動キャンペーンがスタートを切りました。

そして、その年間目標がわずか2カ月で達成し、11月末には600万本を越える勢いで植樹されています。国際的なネットワークを持つライオンズが「勇気」「決意」「行動」でひとつになったとき、素晴らしい力となる事が証明されました。世界がひとつになって目標に向かって活動しています。



History of Japan

1952年3月、フィリピン・マニラライオンズクラブのスポンサーで東京ライオンズクラブが誕生し、日本は世界で35番目のライオンズ国となりました。

その後、横浜・神戸・大阪と次々にライオンズが結成され、1963年には会員数が3万人を超える世界第2位のライオンズ国となり、1992年には会員数17万人を記録しました。

現在、日本では3,255クラブ、約11万人の会員が日々奉仕活動を行っています。



335-B地区(大阪府・和歌山県)は日本で最も会員数が多い地区です。



日本のライオンズクラブは地域ごとに35の地区に分かれています。その中で、大阪府と和歌山県は「335-B地区」と呼ばれ、現在188クラブ、会員数約6,000名を有し、日本35地区の中で最大の地区です。335-B地区では、その会員数の多さと組織力を活かし、常に新鮮でパワフルな奉仕活動を展開しています。

世界のライオンズ概況:206カ国・46,355クラブ・会員数1,355,532人

世界のライオンズ国はアメリカ及びその周辺、カナダ、中南米・メキシコ・カリブ海諸島、ヨーロッパ、東洋東南アジア、インド・南アジア・アフリカ・中東、太平洋及びその周辺の7つの地域に分けられ、日本はその中の「東洋東南アジア」に属します。

*世界のクラブ数と会員数

ライオンズ国または領域	206カ国
世界のクラブ数	46,355クラブ
世界の会員数	1,355,532人

*近隣国のクラブ数と会員数

アメリカ	12,388クラブ	354,480人
インド	6,122クラブ	214,008人
韓国	2,111クラブ	85,151人

2011.10.31



ライオンズクラブは1945年の国際連合憲章作成時から非政府組織(NGO)として国連に深く関わっており、以来、国連のパートナーとして多くの活動を支援しています。ユニセフ(国連児童基金)、WHO(世界保健機関)、ユネスコ(国連教育科学文化機関)の事業への資金的支援や人的支援もその一環です。
(ライオンズクラブ国際協会は国連の政治的あるいは安全保障上の問題には関与していません。)

ライオンズの会員になってできること

- * 地域社会に奉仕し、価値あるスキルを身につけられます。
 - * 地元でも海外でも、人々の生活に影響を与えることができます。
 - * リーダーシップを習得し、評価の高い団体の指導役を務めることができます。
 - * 地域社会と国際社会でビジネス上の人脈を拡げることができます。
 - * 生活を活性化し、楽しむことができます。
- 人間的にも成長できます。そして自分の活動に価値があり、感謝されていることに気づくことができます。



ライオンズの会員になるには

ライオンズクラブへの入会資格は、法的な成人で道徳的な人格を持ち、人類と平和を愛し、地域の人びとの尊敬を集める人。批判は謙虚に、賞賛は惜しみなく、建設を旨とし、眞の友情と奉仕の心を持った人です。

入会に当たっては、ライオンズメンバーの紹介(招請)が必要です。招請のち、クラブメンバーの承認を経て会員となります。費用としては入会金と会費が必要です。入会前に例会を見学することができます。入会を希望されるクラブへご連絡ください。追って例会日をご連絡いたします。

●お問合せ